

N-3: 参加者ネットワーキングセッション

開催日時・会場 9月4日(水曜日) 9:00-10:30 新C103(1階)

URAにとってのPMとは

本セッションは、科学技術振興機構(JST)で実施されているプログラスマネージャー育成・活躍推進事業のプログラスマネージャー(PM)研修生/修了生が皆様と一緒に、URAの業務、スキル向上やキャリア形成などをテーマに、皆で相談や議論する場です。PMって何？業務でPMが何に役に立つの？最近スキル向上に悩んでいる、将来PMになりたいけど、などを議論したい方々の参加をお待ちしております。本セッションはA-3「URAのスキルアップ、ステップアップを考える-プログラスマネージャー育成・活躍推進プログラム修了生からの提案-」及びA-7「URAの人的ネットワークから得られるものとは？」と連動しています。

各機関のミッションや思いにより、URAの業務は多種多様になっています。その中でURAは研究プロジェクトや様々な学内プログラムやプロジェクトの企画・運営に携わっており、プログラム/プロジェクトのマネジメントスキルが求められる場面が多くなっているのではないのでしょうか。

JSTにおいてプログラスマネージャーの育成を目指し、PM育成・活躍推進事業を2015年から開始し、この秋から5期生の研修が始まります。PM研修ではPMに必要なカリキュラムを構築し、最高の講師による研修を行っています。研修には企業、大学、政府等の様々な機関から様々なバックグラウンドを持ったPMを志す人材が集まり切磋琢磨しております。

本セッションでは、URA業務を行っているPM4期生のオーガナイザーをはじめとするPM研修生/修了生と皆様とで、URAの業務において必要なPMのスキルとは、URAとしてスキル向上にどのような知識が必要なのか、URAのキャリアパスとしてPMの道はあるのか、PMってそもそも何??などの熱い議論をし、PMの視点でURAの業務、スキルアップ、キャリアパスを整理できればと思います。A-3のセッションも聞いていただくとありがたいです。もちろん聞いていない人も大歓迎！

オーガナイザー

寺本 時靖: 神戸大学 学術・産業イノベーション創造本部
学術研究推進部門 特命准教授(URA)



学位取得後の博士研究員を努めた後、URAとしてのキャリアを2009年から金沢大学でスタート。科研費の支援や若手研究者の支援、大学の研究戦略立案支援など幅広い業務を経験する。またURA組織化にも関与する。2014年に母校の神戸大学へ移籍。これまで大小200件以上の申請支援や企画、2つの大学の研究戦略に携わる。特にマネジメントと若手研究者支援、プロジェクト創生に興味を持っており、知識と経験を蓄積中。PM研修4期生。

オーガナイザー



丹野 史典:福島大学 研究振興課 特任専門員(URA)

学位取得後、博士研究員を経て福島県の民間企業(サービス業)へ。その後、東日本大震災に立ち上がったJST復興促進センターで復興支援のための産学連携を経験した。平成29年より福島大学へ移り、大学側の立場に立った研究支援に飛び込んだ。現在は研究費獲得支援、企業とのマッチング、研究成果の発信などを中心に活動している。また最近では福島県内における支援人材のネットワーク強化にも力を注いでいる。PM研修4期生。



松原雄介:国立大学法人東北大学
研究推進・支援機構 URAセンター 特任助教

民間企業(製薬)での研究者を経て、2015年3月より東北大学URAとして、産学連携や、センター・オブ・イノベーション(COI)事業における拠点運営、研究推進等に従事している。また、官民イノベーションプログラムでのベンチャー化支援にも従事している。
組織対組織の連携や、コンソーシアム型の研究開発など、産学連携の大型化に向けた企画立案・推進していくべく、JSTのPM研修の4期生として修業中。